

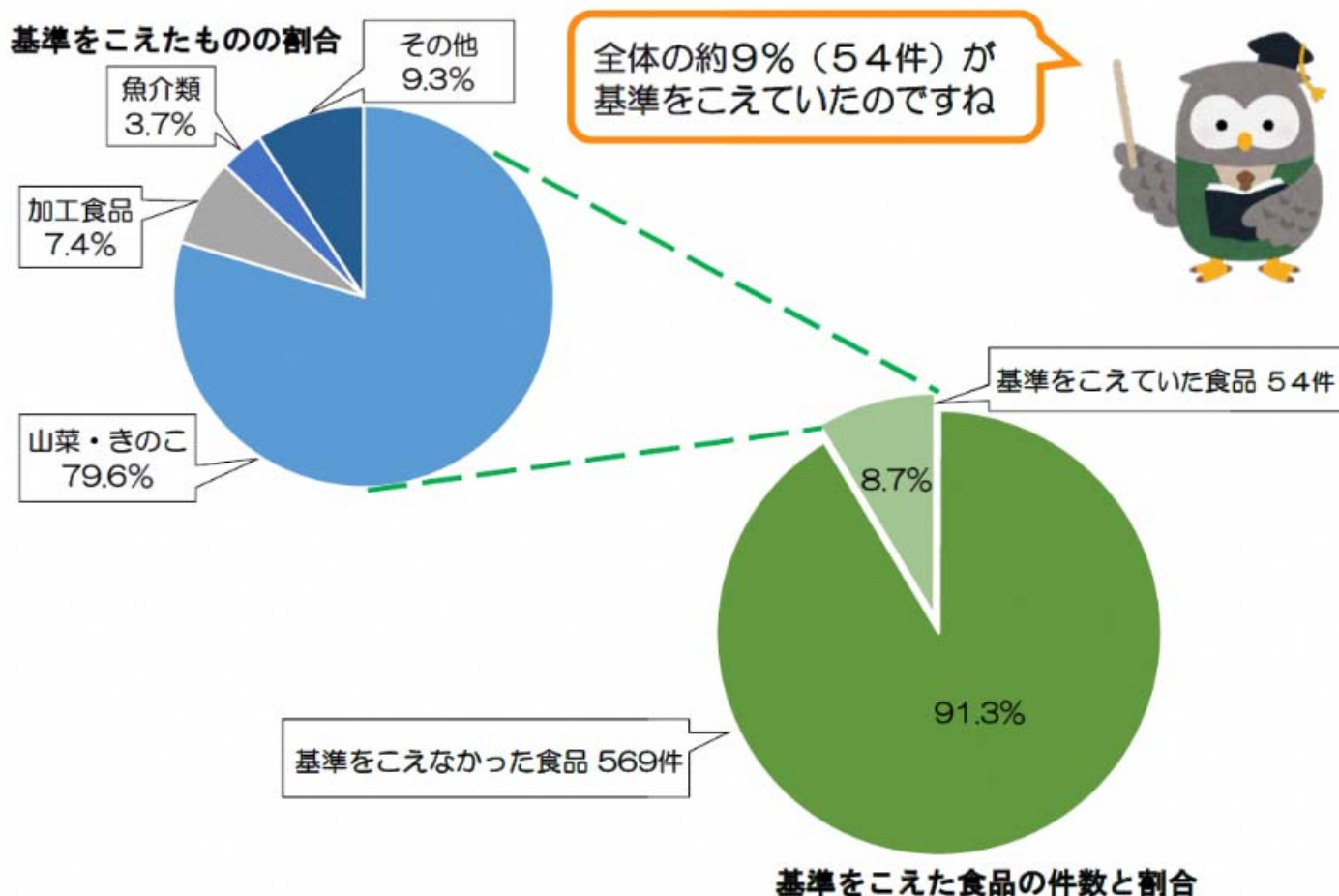


1

食品の放射能検査の結果について (平成29年度)

放射能簡易分析センターでは多くの食品を検査しています。平成29年度（平成29年4月～平成30年3月まで）には623件を調べました。

平成29年度の基準をこえた件数（100Bq/kg 超過）



品目別で最も多かったものは山菜・きのこで43件（約80%）でした。その中でも、たけのこは件数が最も多かったのです。

自家用食品の放射線検査はどこでできるの？

- 場 所：公民館 1 階
- 検査受付：午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
(土日・祝日を除く月曜日から金曜日)



非破壊式では
最低 500 g 以上
幅 30 cm、奥行 20 cm、
高さ 15 cm の大きさまで
測定できます



破壊式では
1 kg 程度で細かく
刻んで持参してください

決められた量よりも少ないと
正確に測定できないことがあります。
また、土は洗い落として下さい。



●●問合せ先●●

公民館内放射線簡易分析検査センター ☎080-3303-6805

食品のモニタリング結果総括表

(平成30年3月)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	6	6	0	
根菜・芋類	—	—	—	
山菜・きのこ	12	8	4	椎茸、フキノトウ
果物	—	—	—	
穀類	—	—	—	
種実類	—	—	—	
魚介類	—	—	—	
加工食品	—	—	—	
飲料水	—	—	—	
その他(肉類など)	—	—	—	
総検査数	18	14	4	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所	公民館1階 放射能簡易分析センター
曜 日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前8時30分～午後4時30分まで

広野町各地区の放射線量

平成30年4月14日13時30分現在(天候:曇り)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率(μSv/h)	測定箇所	放射線量率(μSv/h)
広野小・中学校	0.10	広野町役場	0.10
広洋台地区集会所	0.11	高速バス利用者駐車場	0.16
ニツ沼公園 ^{注2}	0.09	上田郷橋付近 ^{注1}	0.15
長畑地区集会所	0.12	北沢複合交差点	0.15
小滝平浄水場 ^{注2}	0.09	県道広野～小高線沿	0.15
ふたば未来学園高等学校	0.07	仮置場	0.09

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、μSv/h(マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。



新年度になりました。

放射線相談室のメンバーが替わり、私、星が放射線相談員として着任いたしました。

本年度も、放射線相談室は様々な活動を行うよう考えています。その中の一つとして、昨年度回収したDシャトルを希望者の方に配布する予定としています。

そこで、Dシャトルについて、以前寄せられた質問をおさらいします。

Q. 広野町では、D-シャトルでの外部被ばく線量が行われていますが、測定結果は、自然放射線（バックグラウンド）を含んだ値ですか？

A. D-シャトルは、個人の外部被ばく線量を測る線量計です。D-シャトルの結果は自然放射線を含んだ値です。



← D-シャトル

解説

自然放射線とは？

日常生活をする中で、私たちは知らず知らずのうちに放射線を受けています。宇宙から、そして大地から受ける自然放射線による外部被ばくや、食物や空気中のラドン等、自然由来の放射性物質から受ける内部被ばくは、合計すると、日本平均では年間 2.1 ミリシーベルトになります。

(放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成 28 年度版 ver.2017001 から引用)

発行者

広野町放射線相談室

080-9252-4773

広野町健康福祉課放射線健康相談係

0240-27-2113